



とちぎ プラザ

ふお～you

vol. 220

JAグループ栃木は、安全・安心な農畜産物の提供、地域社会への貢献など多彩な活動を展開しています。企画特集「ふお～you とちぎ JAプラザ」では「豊かなくらしをサポート」をメインテーマに県内の農畜産物と生産者、直売所、JAグループ栃木の取り組みを紹介します。

【企画・制作 下野新聞社ビジネス局】

肉厚で大ぶり、優しい味を消費者へ

菌床センターから栽培農家へ転身

カルシウムの吸収を助けるビタミンDを豊富に含み、血中コレステロールや血圧を下げる効果があるシイタケ。林業が盛んな栃木県ではシイタケ栽培が盛んに行われてきましたが、JAしおのやもその一つ。この地域では、旧JA喜連川の地元有志が菌床シイタケの栽培に着手。JAが全国的にも珍しい菌床センターを運営するなど力を入れ、県内有数の産地として知られるようになりました。



収穫を待つ、大きく育ったシイタケ

JAしおのや菌床しいたけ部会（組合員21人）に所属する久保井勲さんは、6年前に就農。以前はJAしおのや職員として菌床センターで菌床の製造をしていました。「菌床作りだけでなく、シイタケが消費者の手に届くころまで手がけたい」という思いで一念発起。規模を縮小した農家の空調ハウスを借り、菌床シイタケ栽培をスタートしました。



久保井 勲さん(43歳)

約5カ月間寝かされます。菌床に菌が行き渡った後、温度による刺激を加えるとシイタケが発芽しますが、菌床栽培で特に難しいのが温度と湿度の管理。菌床は水を好む一方、発芽したシイタケは水を嫌うため、生育状況や季節に応じて、シイタケにとって最適な環境づくりに細心の注意を払います。「菌は目に見えないので教科書通りにはいきません」と久保井さん。その栽培への熱意を支えてくれるのは、先輩農家であり、菌床センターで働いていた前職での経験です。

久保井さんが栽培したシイタケは、JAしおのやを通じて東一宇都宮青果と東京シティ青果から全国に出荷されるほか、地元の農産物直売所さくらとたんたんプラザ光陽台にも並びます。「自分の名前が表示された作物が、店頭に並ぶのは感慨深い」と笑顔を浮かべ、「直接、消費者と接することで栽培での新しい発見も多い」と話します。



収穫作業は早朝から行われます

動画はこちらから



10月16日は国消国産の日

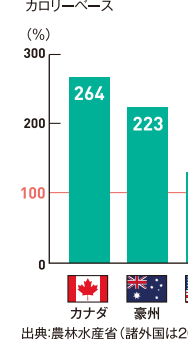
「国消国産」講座

なぜ今? 国消国産

日本の食料自給率は先進国の中でも最低水準

コロナ禍でマスク不足が社会問題になり、国民生活に大きな影響を与えました。これがもし食料だったらどうでしょうか? 月日をかけて育まれる農畜産物は、不足したからといってすぐに作れるわけではありません。そこで気になるのが、食料自給率です。下のグラフをご覧ください。日本は他の先進国と比べて、とても低いことがわかります。

食料自給率の比較



日本の食料自給率は
わずか38%*

*カロリーベース2019年 農林水産省による

日本は今、
食料の約6割を輸入に
頼っているのです。

いざという時に
困らないために

だから今! 国消国産

「国消国産」で日本の食料自給率の向上を

農林水産省は、2030年度までに食料自給率45%（カロリーベース）を目指しています。その実現には、「国」民が必要とし「消」費する食料は、できるだけその「国」で生「産」するという「国消国産」をみんなですすめ、国産の農畜産物を食べて・飲んで・飾って・応援して、国内農業を後押ししていく必要があります。

ここがポイント!

- ①日本の食料自給率は、わずか38%
- ②食料を輸入に頼ることは、いざという時のリスクに
- ③「国消国産」で、食料自給率の向上を



大きなジャガイモを収穫し喜ぶ親子



「男の居場所クラブ」で、コーヒーの入れ方を学ぶ参加者

体験通し、JAのファンに

地域の活性化 Information ~お知らせ~

JAなすの くらしの活動



牛糞の堆肥で育てたアスパラガスで収穫体験する子どもたち

JAなすのは、安心帰れることも魅力。初の5月4日には、エダマメの種まきとサツマイモの苗植えが行われ、「地産地消」の活動が盛り上がり、収穫したアスパラガスやサツマイモを地元で販売しました。

JAなすの管内: 大田原市・那須町・那須塩原市

今回はJAうつのみやです。

直売所のイチオシ!

JAはが野 友遊直売所



店頭に並ぶ旬の「にっこり」

甘さたっぷり「にっこり」が旬

ナシの栽培が盛んな芳賀町。同町祖母井(うばがいの)の友遊直売所では、地元生産者が直接納入したナシと選果場から仕入れたものが毎朝店頭並び、人気を集めています。現在、旬を迎えた「にっこり」は、甘さと日持ちのよさが特徴です。贈り物として地方発送する方も多いそうです。

同直売所がある「道の駅はが」には、物産館や飲食店、日帰り温泉施設が併設されており、楽しみ方もいろいろ。直売所では、予冷库で購入商品の無料預かりも実施しているため、食事や買い物、入浴などをゆっくり楽しむことができます。

店長の添田三夫さんは「ぜひご来店いただき、芳賀のおいしいナシを召し上がってください」と呼びかけます。これからの時期は、ネギやダイコンなども旬を迎えるとのこと。近くに来られた際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



【営業時間】午前9時～午後5時
【定休日】水曜日・年始(1/1、1/2)※水曜日が祝日の場合は営業
【所在地】芳賀町祖母井842-1(道の駅はが内) 【電話】1028-677-6466

友遊直売所の
詳しい情報は
こちら



今月のプレゼント



10名様



6名様

【応募方法】はがき、または右のQRコードから応募ください。郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、希望のプレゼント番号、紙面の感想などを添えて、28日必着。応募はお一人様1回。

はがき
送付先

〒320-8686 下野新聞社ビジネス局
「とちぎJAプラザ10月」係

※応募いただいた個人情報は、抽選、賞品の発送、応募集計、分析に使用し、下野新聞社の「プライバシーポリシー」に則って適切に管理します。また下野新聞社主催および後援事業のご案内に使用させていただく場合があります。
(下野新聞社ビジネス局)



ウェブからの
応募



ラインとちぎ
からの応募

JAグループ栃木

お問い合わせ JA栃木中央会総務企画部
☎028-616-8540 <https://www.tcchu-ja.or.jp>

農産物直売所

地元農産物

応援キャンペーン

〈キャンペーン期間: 10/1(火)～10/31(木)〉

詳しい情報は
こちらから

